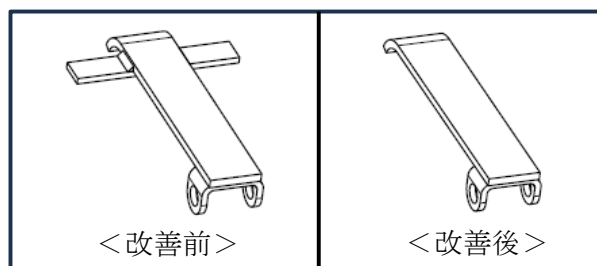
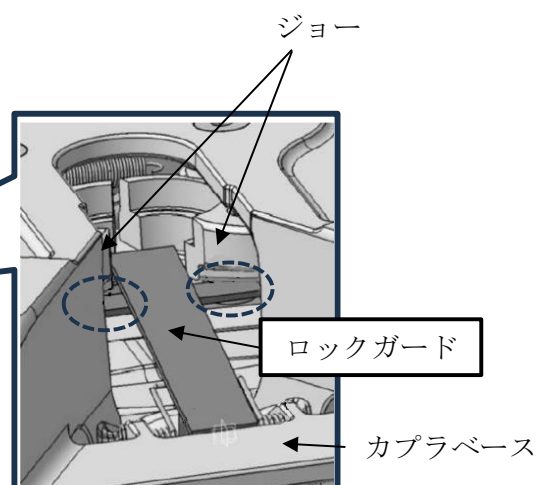
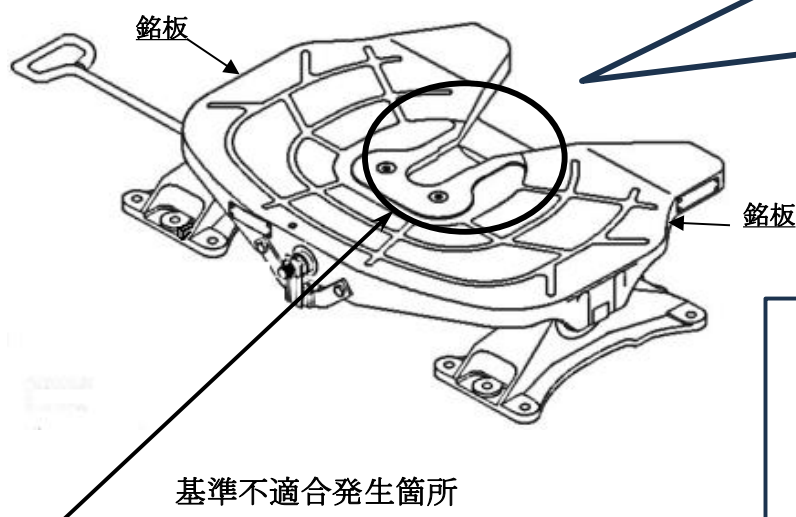


改善箇所説明図



大型トラックの2軸式カップラにおいて、製造工程の作業性改善で設計変更したロックガード（誤連結防止部品）の形状が不適切なため、トラックとトレーラの高さが合っていない状態で連結操作を行うと、ロックガードが正しく作動せず誤連結状態となるとともに、インストルメントクラスターに「トレーラ連結完了」のメッセージが表示されることがある。そのため、目視による連結状態を確認しないまま使用を続けると、走行中にトラックとトレーラが分離するおそれがある。

改善の内容

全車両、ロックガードの形状を確認し、交換対象の場合はロックガードを対策品と交換し、ジョー上面とロックガードR部頂点を計測の上、必要に応じて調整する。なお、対策品に交換するまでの間、使用者へ連結操作時にトラックとトレーラの高さを合わせることを、および完了後に連結状態を目視確認することを周知する。

注： は、交換する部品を示す。

識別：連結装置左後方または右側方の銘板に白色ペイントを塗布する。